

目次	オカムラのCSR	特集	データ集	戻る
CSR経営	クオリティの追求	地球環境への取り組み	よりよい職場づくり	社会との調和

特集 2 多様なワーカーと一緒に活躍できる「ウェルツ」 進化したオフィスチェアが働き方を変える

多様なワーカーが、職場で共に活躍できる環境づくりのために。オカムラは、座ったままスムーズに移動できるオフィスチェアの実現に向けて、佐賀大学、神奈川県総合リハビリテーションセンター、日進医療器との共創によって開発を進めてきました。2018年4月に「Weltz-self(ウェルツ セルフ)」を発売。また、電動駆動付きチェアの「Weltz-EV(ウェルツ イーヴイ)」も開発しました。ハンディキャップに関わらず、自由に移動し、周囲と協調しながらオフィスで働くことができます。



障がい者や高齢者など多くの人が さらに働きやすい環境づくりへ

オカムラがめざしたのは、足の不自由な障がい者や、下肢や腰の機能が低下した高齢者をもっと働きやすくなるための環境づくりでした。

これまでの通常のオフィスチェアは座り心地を重視し、それ自体が移動するためのものではありません。椅子のまま移動すると重心のズレが生じるなど、スムーズな移動は困難でした。そこで、移動しやすく仕事が快適になるオフィスチェアの開発を推進。オフィスにマッチするデザインを損なわずに、移動もできる機能を持たせようと試作を重ねました。

たどり着いたのは、高いデザイン性と、優れた旋回性能。そして、健常者の椅子と並んでもまるで一緒に椅子で仕事をしているような感覚を持たせること。その形状は、オフィスにあっても違和感なく溶け込むものです。新しいオフィスチェアの名前は、「Weltz(ウェルツ)」。Well-beingとWaltz(ワルツ)を掛け合わせたネーミングで、誰もがオフィスの中を踊るように動けるという想いが込められています。



足こぎで移動する
「Weltz-self」



電動駆動付きの
「Weltz-EV」

目次

オカムラのCSR

特集

データ集

戻る

CSR経営

クオリティの追求

地球環境への取り組み

よりよい職場づくり

社会との調和

車いすよりもコンパクトで オフィスにマッチするデザイン

「Weltz-self(ウェルツ セルフ)」は、座ったままオフィス内を移動できる椅子。オフィス環境になじむ有機的で優しい曲線のフォルムが特徴です。旋回性能を最大限に高めるために、車輪を体の真下に配置。旋回半径がとて小小さく、その場でくるりと向きを変えるなど軽快に動くことができます。後方に付いている車輪は旋回を補助するだけではなく、後方への転倒を防ぐ機能も持っています。また、オフィスチェアとしては大きめの車輪が安定性を生み、足こぎでスイスイと移動。車輪を椅子の内側に収めているので、見た目もコンパクトです。さらに、座った時の足側の開口部が広いので、足でこぎ際にフレームに足が当たりにくいことも特徴です。

「Weltz-EV(ウェルツ イーヴィイ)」は、電動車いすよりもコンパクトな、オフィスに溶け込むデザインが魅力の電動駆動付きチェア。肘掛けに備えられた操作レバーを直感的に操作でき、旋回や移動も難しくありません。



VOICE

あくまでもオフィスチェアであるからこそ
多様な人々のお役に立てるのかもしれない。



株式会社オカムラ
デザイン本部
製品デザイン部
デザイナー
新行内 弘美

デザインをオフィス家具に近づけ、オフィス内で違和感のないイメージにできるよう努力しました。車輪にスポークがないのが、車いすっぽくなくていいとの声もあります。今では健常者が打ち合わせの際に机とホワイトボードの間を移動するのに使ったり、高齢者が立ち上がりずにWeltzでそのまま移動したりするケースもあるようです。あくまでもオフィスチェアというコンセプトが、幅広く受け入れられているのかもしれない。今後も、少しでもダイバーシティに貢献できたらうれしいです。

VOICE

車いすから乗り換えて働きたいという
ニーズに応えるために検討を重ねました。



株式会社オカムラ
フューチャーワーク
スタイル戦略部
浅田 晴之

車いすは、屋外利用を基本とした移動手段です。普段、障がい者や高齢者の方々は、そんな車いすを利用してスムーズに移動しながら行動の幅を広げています。

しかし、車いすで出社した人には、オフィスではチェアを乗り換えて働きたいというニーズがあることを知り、研究開発に挑みました。屋外では段差や坂などがあるため、車輪の位置を後方にして重心を安定させる必要があります。しかし

Weltzは屋内で使用するものですから、オフィス内の移動や旋回がスムーズに行える機構を追求。軽快な動きによって、多くの人の働き方を広げていけたら幸いです。

共創の過程で当事者の方々から学び
後押ししていただいたプロジェクトでした。



株式会社オカムラ
マーケティング部
オフィス製品部
企画担当
高橋 卓也

オフィスでも、椅子ではあるけれど車いすのように機動力のあるもの、もっと自由な働き方をサポートできるものを作りたい。そんな発想からスタートし、同じような研究を行っている大学やセンター、企業が集まって開発チームを組み、共創を行いました。製品化に至るまでには多くの困難もありましたが、ある程度開発が進んだ段階で参考展示として出品したり、試作品を高齢者施設などで使ってもらってフィードバックをもらうなど、少しずつ前進。多くの人、特に当事者の方々と深く関わることで後押しをいただき、社内だけでは限界があった壁を乗り越えることができました。

すべての人に快適な椅子を 提供することをめざした取り組み

これらの椅子は、誰もが思いのままに、自由に移動できる多機能チェアという位置づけです。2018年11月7日～13日に渋谷ヒカリエで行われた「超福祉展」、2018年12月6日～8日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2018」にも出展。多くの方々に関心を寄せていただきました。ある高齢者の方からは「私たちの生活



2018年11月の「超福祉展」に
出品され注目を集めた「Weltz」